



主催・栃木県

概要 実施期間：平成27年10月13日(火)～10月19日(月)

栃木県の「自家用乗用車の世帯当たり普及台数」は全国5位(平成27年3月末現在、一般社団法人自動車検査登録情報協会調べ)。
 自動車は、栃木県民の生活にとって欠かすことのできない交通手段です。
 しかしその一方で、過度なマイカー利用により、特に通勤時間帯における交通渋滞やそれに伴う公共交通機関の定時走行の阻害など、諸問題が発生しているのも事実です。
 そこで、「はじめよう! エコ通勤」。
 栃木県では、県、市町村、民間等事業所が一斉にエコ通勤に取り組む統一行動週間「とちぎエコ通勤week」を実施しました。多くの事業所にご協力を頂き、延べ約12万8千人の参加を得た「とちぎエコ通勤week」の実施状況をお知らせします。

実施結果

Result

参加事業所数

区分	H27	H26
参加事業所数(所)	146	141
うち民間等事業所	120	115
登録人数(人)	約 36,000	約 36,000
うち民間等事業所	約 17,500	約 17,500

エコ通勤率の変化

区分	エコ通勤week	通常日
エコ通勤率(%)	40.9	32.6
うち民間等事業所	(1) 48.0	(2) 41.4

1・2)事後アンケート(回収率:90.0%)の集計値

参考(試算値)

Reference

・エコ通勤weekの取組の効果をCO2抑制量で試算すると、以下のとおりです。これは、元気な杉の木約2,100本が1年間に吸収するCO2量(25mプール約38杯分)に相当します。(3)

CO2抑制量(7日間計)	抑制率(全て、バス通勤に転換したと仮定)	普段、自動車通勤の方で、week期間中にエコ通勤した延べ人数	自動車通勤による1人1日当たりの平均的なCO2排出量
約30トﾝ-CO2	7/10 (※4)	約 7,740人 (※5)	約 5.55kg-CO2 (※6)

- 3) 杉の木1本当たりの年間CO2吸収量 = 14kg-CO2/年・本(林野庁HPより)
 ・25mプール1面の容積を約400m³とした。
- 4) 1人を1km運ぶのに排出するCO2量
 バス:自動車 = 3:10(交通エコロジー・モビリティ財団HPより)
- 5) 事後アンケート(回収率:90.0%)の集計値
- 6) 約5.55kg-CO2(国土交通省HPより)

はじめよう! エコ通勤

Let's Start

・職場の仲間と一緒に出来ることから取り組んでみませんか?とちぎエコ通勤weekは来年度も実施予定です。ご参加を心よりお待ちしております。

路線バス事業者との連携

Tie-Up

バス100円乗車証

協賛: 関東バス
 東野バス
 JRバス



・普段マイカー通勤の方を対象に、路線バス通勤を体験していただき易くなるように、エコ通勤week期間中に限り、1回100円の運賃で乗車できる「バス100円乗車証」を発行しました。
 【発行実績: 653枚、延べ使用回数: 1,241回】

広報バス

協力: 栃木県バス協会

・車体フロント面に「バスマスク」を掲出した路線バスが、広報カーとなって走りました。
 【走行台数: 約300台】



路線バス利用促進キャンペーン

主催: 栃木県バス協会

・エコ通勤week期間中、JR宇都宮駅を經由する路線バスの一部車内に掲出されたラッキーナンバーを見つけて応募すると、抽選で賞品が当たる～ラッキーバスに乗ろうキャンペーン～を実施しました。
 【応募総数: 269通】

